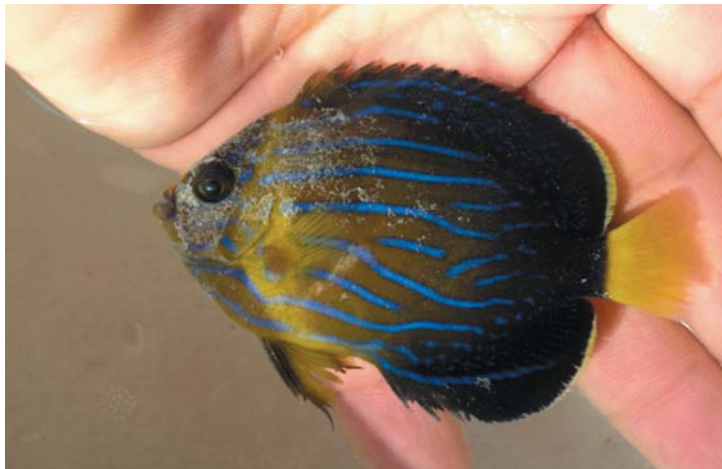


引田漁港でとれたキンチャクダイ



【ねらい】

私たちの身近な香川での温暖化の現状をとらえて、地球の温暖化について関心を高めるとともに、温暖化の原因やその影響について考えさせます。

引田漁港でとれたキンチャクダイ



【資料解説】

この写真は、平成23年12月8日に引田漁港でとれたキンチャクダイです。キンチャクダイは、瀬戸内海では、めったに見られない南方系の魚です。生息地は、もともと相模湾以南、台湾、中国などで、瀬戸内海のしかも冬の時期にとれるのは珍しいと言えます。

このほかにも、仁尾港で「クロホシマンジュウダイ」が水揚げされたり、県東部で南方系の回遊魚である「イトヒキアジ」や「ヨロイアジ」などが漁獲されているとの報告もあります。こうした魚の出現は、水温をはじめとする瀬戸内海の変化が起きている兆しとして捉えることができるかもしれません。

写真提供：引田漁業協同組合
出典：かがわの温暖化(県環境政策課)

【参考】

香川県は、ハマチ養殖発祥の地だけあって、魚類養殖も盛んです。養殖漁業のメリットは、同じ種類、それも天然物なら高嶺の花となるような魚をリーズナブルな値段で食べられること。しかし、温暖化が進むと、ヒラメなどの冷水性の魚は高水温が苦手なため、養殖が難しくなり、今まで食卓に上っていたこうした魚が再び高嶺の花となる日が来るかもしれません。

また、香川県のノリ養殖は、海水温が下がり始めた秋から冬にかけて行われますが、従来なら、11月上旬には低下していた海水温が近年では11月過ぎまで低下せず、養殖の開始時期が遅れる傾向にあります。漁期終了時期も早くなる傾向にあり、収穫期間が大幅に短縮され、生産量の減少が懸念されます。

【関連する各教科の学習内容】

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
社会			- 我が国の国土の自然などの様子 - 我が国の産業や産業 - 公害と国民の健康・生活環境	世界の国の様子	【地理】		
理科				生物と環境			【公民】 - 国民の生活と政治の役割（選挙の保全） - 世界平和と人間の開発の進歩（地球環境、資源・エネルギー） - よりよい社会を目指して - 生物と環境（自然環境の調査と環境保全） - 自然環境の保全と自然体験の活用
技術・家庭(道徳)						- 生物の育成環境と生育条件 - 生物の育成に関する環境の適切な評価・活用	
家庭(道徳)				環境に配慮した生活の工夫		環境保全と環境	